

岡山支部活動報告

操山（みさおやま）169帯 登山ハイク 昭和51年卒 横山茂樹

2017年11月5日、晴天に恵まれた日曜日の10時30分、私たちは岡山市内奥市グラウンドの奥にある護国神社鳥居前広場に集合した。辺りは、社会人野球や少年野球大会のため、家族連れの人々や車でごった返していた。集合メンバーは、総勢6人。女性2人と男性4人。内1人は私の孫、4歳9か月になる男児である。

御成町登山口から、ゆっくりと登山ハイク開始。三勲神社跡で市内中心部の眺望を楽しみ、カナメモチの樹林トンネルを抜け、操山山頂に着く頃、何やら祭りの笛太鼓が里山センター方向から聞こえてくるではないか。気の向くままコースを変更し、ひとまず里山センターに下って祭りのイベントに参加することとした。そして、昼食とトイレを済ませた後、不動尊方面へと登りなおすことに。

里山センターは多くの家族連れでにぎわっていた。孫は、竹笛を作ってもらったり、竹トンボの飛ばし方を教えてもらったりと、大喜びであった。会話をはずませつつ弁当に舌鼓を打ち、一同満足顔でセンターを見学したのだった。

息をはずませながら不動尊に到着。そして、中腹の曹源寺三重塔へと向かった。茂みに辺りを囲まれ、訪れる人も少なく寂しげな雰囲気ではあったが、風格ある立派な塔であった。それから、流水でえぐられた穴ぼこを落ち葉が覆った少し危険な道を、曹源寺境内へと注意深く下った。境内を拝観し、立派な総門前で記念撮影をパチリ。

円山自動車教習所裏の池に出る予定が、不覚にも道を違え、自動車教習所を大きく迂回する羽目になってしまった。やっと予定コースに復帰。気を取り直して、本日3回目の登りに取り組み、旗振台東屋のある最終ピークに到着。市内南東方向の眺望を楽しんだ後、スタート地点の護国神社鳥居前広場へと下山、ゴールした。

ゴール時刻は3時30分頃。朝と比べて辺りはかなり静まり、駐車場の車も減っていた。昼食や休憩等の時間を含め、トータルで5時間程度の登山ハイクであったが、参加者それぞれに心地よい疲れで満足そうであった。孫も、最後まで元気よく歩き通すことができ、喜んでいて。

師走に入り、登山ハイクに参加した女性から、「あれから、主人と機会をつくっては、歩くことを楽しみにして出かけるようになりました。」との嬉しい便りをいただいた。